



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月3日

上場会社名 株式会社シグマクス 上場取引所 東
 コード番号 6088 URL <https://www.sigmaxyz.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富村 隆一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 田端 信也 TEL 03(6430)3400
 四半期報告書提出予定日 2021年2月3日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,241	△13.3	1,168	△28.5	1,212	△24.3	743	△21.0
2020年3月期第3四半期	11,809	22.9	1,634	82.1	1,601	64.2	942	53.8

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 743百万円 (△21.0%) 2020年3月期第3四半期 942百万円 (53.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	38.81	38.76
2020年3月期第3四半期	48.69	48.48

(参考) 税金等調整前四半期純利益 2021年3月期第3四半期 1,359百万円 (△15.1%)
 2020年3月期第3四半期 1,601百万円 (66.6%)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	9,736	5,000	51.4	263.36
2020年3月期	9,669	5,036	52.1	263.82

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 5,000百万円 2020年3月期 5,036百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		税金等調整前 当期純利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500 ～15,500	△9.4 ～△3.1	—	—	1,850 ～2,300	△15.0 ～5.7	1,100 ～1,500	△21.8 ～6.6	57.52 ～78.44

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 連結業績予想につきましては、2021年2月3日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 1株当たり当期純利益の計算には、2020年8月3日開催の当社取締役会の決議に基づく自己株式の取得のうち、2021年1月1日以降の取得分の影響は考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	21,104,300株	2020年3月期	21,068,300株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	2,114,864株	2020年3月期	1,977,334株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	19,166,340株	2020年3月期3Q	19,346,793株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託（J-ESOP）制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有している当社株式及び業績連動型株式報酬制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が所有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付書類3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にありますが、先行きについては持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、感染拡大による内外経済の下振れリスクの高まりや、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

このような環境の中、当社グループは、企業のデジタル・トランスフォーメーションの支援、イノベーション創発などの事業を推進しております。第1四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面の顧客訪問の自粛、当社クライアント企業における新規プロジェクトの立ち上げの遅れなどが発生し、受注の遅延が見られました。第2四半期連結会計期間以降は、対面の顧客訪問活動が再開し、受注も回復しつつあります。プロジェクトのデリバリーに関しては第3四半期連結累計期間を通じて、デジタルワークプレイス環境を最大活用しながら、安定したサービス提供を継続いたしました。

当第3四半期連結累計期間の業績並びに経営指標の状況は以下のとおりです。

売上高につきましては、ERPクラウド化サービスの伸長が見られるものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けている航空業界向けのコンサルティングサービスや、小売業界向けコールセンター案件において付随的に行っていた利益貢献の軽微なハードウェア/ソフトウェア製品調達代行サービスの順次提供縮小にともないプロダクトセールスが減少したことにより減収となり、10,241,853千円（前年同四半期比13.3%減）となりました。なお、ERPクラウド化サービスの新規大型プロジェクト獲得、並びに航空業界向けプロジェクトから他プロジェクトへのコンサルタントの再配置等が進展したことで、第3四半期連結会計期間の売上高は第2四半期連結会計期間に比べ3.3%増加しました。

販売費及び一般管理費につきましては、採用に伴う人件費、ソリューション開発及び生産性向上のための投資、新型コロナウイルス感染症対策関連経費が増加したものの、その他経費の減少により、2,820,800千円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

営業利益は1,168,788千円（前年同四半期比28.5%減）となり、経常利益につきましては、1,212,647千円（前年同四半期比24.3%減）となりました。

特別利益につきましては、主に4月に株式会社ローソンデジタルイノベーションの株式の持分を全て株式会社ローソンに売却したことにより147,345千円発生しました。同社はローソン事業のデジタル化推進などを目的として2016年に設立した合弁会社であり、所期の目的を達成したため株式を売却いたしました。

法人税等合計は、616,201千円（前年同四半期比6.6%減）となりました。

税金等調整前四半期純利益は1,359,992千円（前年同四半期比15.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、743,791千円（前年同四半期比21.0%減）となりました。

人財採用につきましては、当第3四半期連結累計期間において経験者27名、新卒51名が入社しました。その結果、コンサルタント491名、総社員数561名（前年同四半期比36名増）の組織規模となっております。新卒社員の研修は完全リモートワーク環境の中で順調に完了し、10月から稼働を開始しました。

プロジェクト満足度は94ポイントと高い水準を維持しています。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,736,746千円(前連結会計年度末比67,373千円増)となりました。主な要因は、現金及び預金の増加(前連結会計年度末比699,342千円増)、売掛金の減少(前連結会計年度末比342,509千円減)、投資有価証券の減少(前連結会計年度末比276,933千円減)であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は4,735,747千円(前連結会計年度末比102,955千円増)となりました。主な要因は、未払法人税等の減少(前連結会計年度末比513,472千円減)、短期借入金の増加(前連結会計年度末比600,000千円増)であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5,000,999千円(前連結会計年度末比35,581千円減)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、配当金の支払い453,318千円(前連結会計年度同四半期374,397千円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年8月3日に公表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、2021年2月3日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,175,567	4,874,910
売掛金	1,912,122	1,569,612
営業投資有価証券	648,433	720,498
その他	233,718	322,599
貸倒引当金	△26,400	-
流動資産合計	6,943,442	7,487,620
固定資産		
有形固定資産	251,110	193,127
無形固定資産		
ソフトウェア	251,150	245,718
ソフトウェア仮勘定	167,389	235,008
その他	6,729	6,154
無形固定資産合計	425,268	486,881
投資その他の資産		
投資有価証券	1,346,620	1,069,687
繰延税金資産	245,443	129,196
その他	457,486	370,232
投資その他の資産合計	2,049,550	1,569,116
固定資産合計	2,725,930	2,249,126
資産合計	9,669,373	9,736,746
負債の部		
流動負債		
買掛金	356,138	218,660
短期借入金	1,200,000	1,800,000
未払金	899,514	624,667
未払法人税等	660,596	147,123
株式給付引当金	193,393	326,960
その他	115,128	219,360
流動負債合計	3,424,770	3,336,772
固定負債		
長期借入金	300,000	300,000
リース債務	16,375	12,201
株式給付引当金	248,312	74,811
役員株式給付引当金	556,888	925,517
資産除去債務	86,444	86,444
固定負債合計	1,208,021	1,398,974
負債合計	4,632,791	4,735,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,842,098	2,848,506
資本剰余金	1,108,045	1,132,159
利益剰余金	3,181,923	3,472,395
自己株式	△2,095,486	△2,452,062
株主資本合計	5,036,581	5,000,999
純資産合計	5,036,581	5,000,999
負債純資産合計	9,669,373	9,736,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	11,809,864	10,241,853
売上原価	7,324,448	6,252,264
売上総利益	4,485,415	3,989,589
販売費及び一般管理費	2,850,539	2,820,800
営業利益	1,634,875	1,168,788
営業外収益		
受取利息	3,972	5,129
受取配当金	15,674	-
持分法による投資利益	-	3,604
為替差益	614	-
講演料等収入	14,099	18,242
雑収入	25,264	23,465
営業外収益合計	59,625	50,441
営業外費用		
支払利息	865	4,450
持分法による投資損失	88,722	-
雑損失	3,062	2,132
営業外費用合計	92,650	6,583
経常利益	1,601,850	1,212,647
特別利益		
投資有価証券売却益	-	147,345
特別利益合計	-	147,345
税金等調整前四半期純利益	1,601,850	1,359,992
法人税、住民税及び事業税	603,282	499,954
法人税等調整額	56,494	116,246
法人税等合計	659,776	616,201
四半期純利益	942,074	743,791
親会社株主に帰属する四半期純利益	942,074	743,791

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	942,074	743,791
四半期包括利益	942,074	743,791
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	942,074	743,791

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月7日 取締役会決議	普通株式	374,397	18	2019年3月31日	2019年6月10日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式に対する配当金27,813千円が含まれています。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月7日 取締役会決議	普通株式	453,318	22	2020年3月31日	2020年6月8日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式に対する配当金33,317千円が含まれています。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、コンサルティング業を主な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。